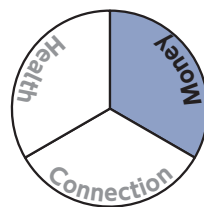


景気の動きは何をみればいいの？



経済調査部 エコノミスト 奥脇 健史(おくわき たけし)

景気の動きを把握するための経済指標

国が公表する経済指標には、家計の消費を把握できる「家計調査」や企業の生産・出荷・在庫の動きを把握できる「鉱工業指数」など様々なものがあります。これらの指標でも経済活動の動きを把握することはできますが、それは経済活動全体の一部分です。数ある経済指標の中には経済活動全体の動きを把握できる便利な指標があります。そのひとつが内閣府より公表されている「景気動向指数」です。

経済全体の動きを月次で把握できる景気動向指数

景気動向指数は、日本経済全体の動きを把握するために、消費や生産など多くの経済指標を合成して一つにした指標です(資料1)。内閣府より毎月公表されており、同じく経済全体の動きが把握できるGDPよりも速報性が高いことが特徴です。

景気動向指数には、「CI」と「DI」があり、それぞれ「先行指数」、「一致指数」、「遅行指数」の3つに分かれます(資料2)。例えば、企業活動が活発化する局面において、それに先立って企業は労働力が必要となるため、求人を増やします。そのため、「新規求人数」は景気の先行指標となります。

景気の局面判断には「CI一致指数」が用いられます。一般的に、CI一致指数が上昇傾向のときには景気拡張局面、低下傾向のときには景気後退局面とみられ、CI一致指数の動きと景気の転換点は概ね一致します。(資料3)

現在、消費税増税の影響や世界経済の減速を受けて、景気動向指数の基調判断は「悪化」が続いています。19年10-12月期は、7-9月期と比べて▲4.5pt落ち込みました。これは前回増税時(14年4-6月期は14年1-3月期に比べ▲3.5pt)を下回る結果であり、景気の基調が弱いことが示唆されています。また、景気の持ち直しが期待された20年1-3月期ですが、新型コロナウイルスの感染拡大による経済への悪影響がみられており、更なる景気の下振れが懸念されています。2020年度の景気はどうなっていくのか、景気動向指数の動きが注目されます。

資料1 景気動向指数の採用系列(2020年3月時点)

先行指数	一致指数	遅行指数
最終需要財在庫率指数	生産指数(鉱工業)	第3次産業活動指数(対事業所サービス業)
鉱工業用生産財在庫率指数	鉱工業用生産財出荷指数	常用雇用指数(前年同月比)
新規求人数(除学卒)	耐久消費財出荷指数	実質法人企業設備投資(全産業)
実質機械受注(製造業)	所定外労働時間指数(調査産業計)	家計消費支出(勤労者世帯、名目、前年同月比)
新設住宅着工床面積	投資財出荷指数(除輸送機械)	完全失業率
消費者態度指数	商業販売額(小売業、前年同月比)	きまって支給する給与(製造業、名目)
日経商品指数(42種総合)	商業販売額(卸売業、前年同月比)	消費者物価指数(生鮮食品を除く総合、前年同月比)
マネーストック(M2)(前年同月比)	営業利益(全産業)	最終需要財在庫指数
東証株価指数	有効求人倍率(除学卒)	
投資環境指数(製造業)		
中小企業売上げ見通しDI		

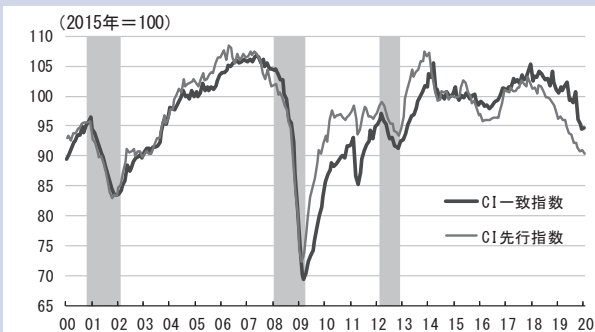
(出所)内閣府より第一生命経済研究所作成

資料2 景気動向指数の各用語の説明

CI	景気変動の大きさやテンポ(量感)を測定することを主な目的とする。景気動向指数はCIを中心に公表。
DI	景気拡張の動きの各経済部門への波及度合いを測定することを主な目的とする。
先行指数	景気の動きに対し、数か月程度先行して動く指標。景気の動きを予測することに利用される。
一致指数	景気の動きとほぼ一致して動く指標。景気の現状を把握することに利用される。
遅行指数	景気の動きに対し、数か月から半年程度遅行して動く指標。景気を事後的に確認することに利用される。

(出所)内閣府より第一生命経済研究所作成

資料3 景気動向指数の推移(影の部分は景気後退局面)



(出所)内閣府より第一生命経済研究所作成